

クロアチアの歴史

2016年8月
在クロアチア日本国大使館

★クロアチアは、その一部なり全部なりが、多くの帝国・王国等に支配・影響下・攻撃されたことがあり、また帝国等の列強間の境界地域に存在したという特徴がある。そのため多くの民族、宗教との関わりがあり、今日の社会・文化等にも大きな影響を与えている。

紀元前 イリュリア人と呼ばれる人々が居住。

紀元前4世紀頃 ケルト人とギリシア人が進出。

紀元前2世紀頃 ローマ人が進出。ローマの属州「イリュリウム」となる。(1世紀に属州は再編され「パンノニア」、「ダルマティア」属州となる。)

紀元前1世紀～3世紀 ローマ人によりザダルの広場（フォーラム）が建設される。

1世紀 ローマ人によりプーラのアウグストゥス神殿、円形劇場が作られる。

305年 ディオクレティアヌス（位284～305）がローマ皇帝を引退、スプリットに宮殿（ユネスコ世界遺産）を造る。

395年 ローマ帝国の東西分裂。東西間の境界（ドナウ川とその支流サヴァ川）はクロアチアを走る。

4世紀～6世紀 ポレチェ市のエウフラシウス聖堂（ビザンツ様式。ユネスコ世界遺産）が建てられる。

4世紀以降 フン族が西ヨーロッパに侵攻。ゲルマン民族の大移動。

451年 アッティラに率いられたフン族がガリア地方（フランス）まで至る。

476年 ゲルマン人傭兵隊長が西ローマ帝国を滅ぼす。

5～7世紀 スラブ人がバルカン半島に南下。その背景は、アジア系遊牧民からの圧迫。クロアチア人はももとは現在のウクライナあたりに住んでいたと見られる。

7世紀 クロアチア人はアヴァール人に支配されていたが、一部はその支配から脱する。

7～8世紀 イスラム勢力が地中海に進出。

8世紀末 シャルルマーニュがアヴァール人を平定した。一部クロアチア人もシャルルマーニュに加勢した。

800年 ローマ教皇レオ3世がフランク王シャルルマーニュに「皇帝」の冠を授ける（「西ローマ帝国」の復活；西欧が独自の文明世界としてまとまった。）。二人の皇帝の誕生で、ビザンツ帝国との間で当初緊張関係。フランク王国は現在のクロアチアの一部を属国とする。

812年 シャルルマーニュは、ビザンツ帝国にヴェネツィア、イストリア、ダルマティアの宗主権を譲る。（イストリア、ダルマティアは現在のクロアチアの一部。）

9世紀以降 クロアチアはビザンツ帝国の影響下でキリスト教を受け入れる。（正教は、865年ブルガリア、998年ロシアでも受け入れられた。ビザンツ文化の北方への拡大。）

9世紀後半 ビザンツ皇帝の側近のギリシャ人学者キュリロスによりグラゴル文字が考案

される。クロアチアではグラゴル文字が使われる。

876年 ドマゴイ公の反乱によりダルマチアにおけるフランク支配が終わる。

9世紀以降 バルカン半島にドイツ人、マジャール人が侵入。

9世紀末 クロアチアのブラニミル王の治世下、独立を周辺諸国から認められる。

10世紀 バルカン半島でスラブ人が最大の民族になる。

925年 クロアチアの初代国王トミスラヴ王(在位910~928年)がローマ教皇により戴冠。

10世紀後半 クロアチアはペタル・クレシミル4世(在位1058~1074年)の時代に最大の版図を実現。(中世クロアチア王国(クロアチア・スラヴォニア・ダルマチア王国))

1054年 東西教会の分裂。クロアチアはローマ・カトリック地域となる。

1094年 ハンガリー王ラディスラフ1世、ローマ・カトリックの司教座としてザグレブのカプトルを建設。ザグレブという名前が記録に初めて現れる。

1097年 クロアチアのペタル・スヴァチッチ国王、グヴォズドの戦いでハンガリーに敗れ、戦死。

11世紀 ヴェネチア共和国は形式的にビザンツ帝国の保護領であったが、独立性を高める。(1082年にビザンツ帝国内で自由な交易を行える特権を得る。)

1102年 ハンガリー王カールマンが12人のクロアチア貴族と連合協定を結び、クロアチア王を兼ねる。以後クロアチアは第1次世界大戦迄、約800年、ハンガリーに従属する。

12世紀 セルビア人が自立を始める。

13世紀 ヴェネチア共和国がビザンツ帝国と西ヨーロッパの交易を独占して繁栄する。

1203年 ドゥブロヴニクはヴェネチア共和国の支配を受ける。

1204年 十字軍がコンスタンティノープルに侵入しラテン帝国を建国(~1261年)。

1241~1242年 モンゴル襲来。クロアチア・アドリア海岸に逃れたハンガリー王ベーラ4世をモンゴル軍が追う。

1254年 マルコ・ポーロがヴェネチアの商人の息子として、コルチュラ島(現在のクロアチア)で生まれる。(但し、マルコ・ポーロの存在すら疑う説もある。)

13~18世紀 ザグレブ市内のカプトル地区にカトリックの聖母被昇天大聖堂が建設される。

14世紀前半 セルビアがバルカンでの大勢力となる。

14世紀中頃 オスマン帝国がバルカン半島に進出。

1358年 ドゥブロヴニクはヴェネチア共和国からハンガリー王国の庇護下に移り、以後独立性を高める(15世紀前半に正式にドゥブロヴニク共和国と称する。15~16世紀に城壁を整備。)

1389年 コソヴォの戦い。セルビアは、オスマン帝国に立ち向かう戦力を失い、以後オスマン帝国の属国となる。

14世紀~ 都市経済の繁栄していたイタリアで、ルネサンス始まる。

1453年 オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼす。

15世紀後半 オスマン帝国はセルビア、ボスニア、アルバニア、ヘルツェゴヴィナを征服・併合。(20世紀初頭まで、オスマン帝国はバルカン諸国のかなりの部分の統治者となる。クロアチアはオスマン帝国から攻め込まれたが、支配された訳ではなかった。但し1481年にドゥブロヴニクは事実上オスマン帝国の庇護下に移る。)

1526年 ハンガリー王国ラヨシ2世,モハーチの戦いでオスマン帝国に敗北し,死亡。オスマン帝国軍隊はザグレブにも攻め入る。

1527年 クロアチアの北部の一部はハプスブルグ家(オーストリア系)の支配下に入る。

16世紀以降 ハプスブルグ家とオスマン帝国の対立。セルビア人がクロアチアの国境地帯(軍政国境地帯)に国境警備兵(屯田兵)として入植。

1529年 オスマン帝国軍がウィーンを包囲。

1534年 オスマン帝国艦隊,マルセイユを訪問し,フランスに歓待される。

1538年 オスマン帝国海軍,プレヴェザ沖(バルカン半島南部)の海戦でスペイン・ヴェネツィアの連合軍を破り,地中海の制海権を握る。

1571年 スペイン,レパント沖(コリント湾のとば口)の海戦でオスマン帝国海軍を破るが決定的勝利ではなく,引き続きオスマン帝国は脅威。

1648年 ウェストファリア条約でヨーロッパの主権国家体制が確立。

1667年 大地震でドゥブロヴニクは壊滅的打撃を受ける。

17世紀後半 ハプスブルグ帝国は,反抗的なクロアチアの土着名門貴族勢力の力を削ぐ。

18世紀 オスマン帝国の衰退始まる。同帝国地域にオーストリア,露,英,仏が進出。

1809年 ナポレオンのダルマティア遠征。ドゥブロヴニク共和国が廃止される。フランス領「イリリア諸州」としてナポレオンに統治される。(～1813年)

19世紀 オスマン帝国地域は,ナポレオンの没落後,第1次世界大戦までの間,「東方問題」と呼ばれる不安定な状況。

1830年 セルビアはオスマン帝国から自治権を得る。

1830年代～40年代 クロアチアを中心に「イリリア運動」と呼ばれるロマン主義的な文化・政治運動が起こる。「イリリア人」という呼称は南スラブ諸民族の総称。

1848年 ヨーロッパ各地で革命(「諸国民の春」)。イェラチッチがクロアチアの総督になる。ハンガリーに宣戦布告し攻め入り,ハンガリーの独立運動鎮圧に力を貸したが,ハプスブルグ帝国から得たものは無かった。

1853～56年 クリミア戦争。英,仏がオスマン帝国と同盟して,ロシアを破る。

1867年 オーストリア,国家体制を改めて「オーストリア＝ハンガリー帝国」とする(～1918年)。

1868年 クロアチアとハンガリーの合意により,クロアチアに特別の自治が認められる。

1878年 セルビアのオスマン帝国からの独立がベルリン条約で認められる。

1914年6月28日 サラエボでハプスブルグ帝位継承者フランツ・フェルディナンド大公夫妻暗殺。

1914～1918年 第1次世界大戦。オーストリア＝ハンガリー帝国の解体。

1918年12月1日 セルビア王国の摂政アレクサンダル皇太子は,クロアチア人,セルビア人,スロベニア人王国の建国を宣言。(1929年ユーゴスラビア王国と改称。)

1941年3月 ユーゴスラビア王国,日独伊三国同盟に参加。ユーゴスラビア国内で右に反対する親西欧派将校がクーデター。

1941年4月6日 ユーゴスラビア王国は枢軸国の侵攻を受けて崩壊。

1941年4月10日 「クロアチア独立国(NDH)」建国。日本を含めた枢軸国は同国を承認。

ウスタシャ（クロアチアのファシズム組織）の指導者パヴェリッチが大統領兼外相に就任。ヤセノヴァツ収容所とスタラ・グラディシュカ収容所でセルビア人、ユダヤ人、ロマ人（ジプシー）らを殺害。

1945年5月8日 パルチザンがザグレブに進軍、「クロアチア独立国」は消滅。

1945年 ユーゴスラビア連邦人民共和国成立。（6つの構成共和国：スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビア、モンテネグロ、マケドニア；セルビア共和国内の2つの自治州：コソボ、ヴォイヴォディナ）

1963年 ユーゴスラビア社会主義連邦共和国に国名を改称。

1970～71年 クロアチアで大規模な民族運動。「クロアチアの春」。

1974年1月 ユーゴスラビアで新憲法。分権化傾向。

1970年代 ユーゴスラビアは西側諸国や国際機関から融資を受ける。79年の石油危機、不況により打撃を受け、対外債務累積、インフラ等の経済危機に。

1980年5月4日 チトー大統領、87歳で死去。集団指導体制に移るもやがて機能不全に。

1989年 ベルリンの壁の崩壊。

1990年4月 クロアチアで実質的複数政党制での議会選挙。共産党が大敗、クロアチア民主同盟が圧勝、トゥジマンが大統領に就任（間接投票）。

1990年12月 クロアチア新憲法制定（いわゆる「クリスマス憲法」）。

1991年6月25日 スロベニアとクロアチアで独立宣言。クロアチア初代大統領はトゥジマン。クロアチア民主同盟（HDZ）（中道右派）が政権を担当。権威主義的体制。ユーゴスラビア連邦軍は独立を認めない立場から介入。クロアチアでセルビア人・連邦軍との内戦が激化（クロアチアでは「祖国戦争」と呼ばれることになる）。

1991年12月 クロアチア国内のセルビア人勢力が「クライナ・セルビア人共和国」を建国（クロアチアの三分の一を占める）。

1991年12月23日 ドイツはスロベニアとクロアチアを国家承認。

1992年1月15日 ECはスロベニアとクロアチアを国家承認。

1992年5月 クロアチア、国連加盟。

1992年8月 トゥジマン、大統領に再選される（直接投票）。

1994年初～1995年11月 明石康氏、国連平和維持活動の責任者の職務を、ザグレブの国連保護軍本部で務める。

1995年 クロアチアがセルビア人勢力を攻撃（5月「稲妻作戦」；8月「嵐作戦」）、「クライナ・セルビア人共和国」を壊滅させた。

（1991～1995年の戦闘で、ヴコヴァル、ヴィンコヴツィ、オシエク、カルロヴァツ、スイニ、ゴスピチ、ザダル、シベニク、ドゥブロヴニク等が破壊、死傷者は数万人と言われる。）

1995年11月 デイトン合意でボスニア内戦終結。

1997年6月 トゥジマン、大統領に再選される（直接投票）。

1998年1月 東スラボニア（セルビア人勢力が統治）がクロアチアに返還。

1999年12月10日 トゥジマン大統領死去。

2000年2月 大統領選挙でメシッチが勝利、第2代大統領就任。（2005年1月の大統領選挙でも再選、2010年2月まで大統領を務める。）

2000年 議会選挙で社会民主党（SDP）（中道左派，旧クロアチア共産主義者同盟）が勝利。ラチャンが首相就任。下野したHDZは民族主義から国際協調主義に路線転換。

2000年5月 NATOと「平和のためのパートナーシップ」（PfP）を締結。

2001年10月20日 EUと安定化連合協定署名。

2003年2月 EU加盟を正式に申請。

2003年11月 議会選挙でHDZが勝利し政権に返り咲き。（2007年選挙もHDZが勝利。）

2003～2009年 サナデルが首相。

2005年10月 EU加盟交渉開始。

2007年10月 国連安保理非常任理事国選挙に当選，2008—2009年の非常任理事国。

2009年4月 NATO加盟。

2009年7月 HDZの首相交代。サナデルからコソルへ。前首相サナデルの汚職疑惑と，世界経済危機後の経済低迷により，HDZへの支持は落ちた。

2009年12月 大統領選でSDP党员ヨシボビッチ勝利。（2010年2月第3代大統領就任。）

2011年6月 EU加盟交渉終了。

2011年12月 EU加盟条約署名。

2011年12月 議会選挙でSDP，人民党（HNS），イストラ民主会議（IDS），年金者党（HSU）から成る中道左派の野党連合が勝利。ミラノビッチSDP党首が首相就任。

2012年1月 EU加盟の是非を問う国民投票。66%の賛成多数で承認。

2012年11月 ゴトヴィナ将軍（クロアチアで英雄視される），ICTYで無罪判決を受け釈放される。

2013年7月 EU加盟。

2015年1月 大統領選でHDZ党员グラバル＝キタロビッチ勝利。（2015年2月第4代大統領就任。）

2015年11月 議会選挙でHDZ率いる中道右派連合「愛国同盟」（HDZ，アンテ・スタルチェビッチ権利党（HSPAS），社会自由党（HSLs），農民党（HSS），年金生活者統一ブロック（BUZ），キリスト教民主党（HDS），クロアチア成長党（HRAST））が59議席（在外投票分3議席を含む）を獲得し，比較第1党となる。比較第2党に56議席を獲得したSDP率いる中道左派連合「成長するクロアチア」（SDP，HNS，労働党（LH），年金者党（HSU）），比較第3党に19議席を獲得したMOST（独立候補者リスト）。

2016年1月 議会選挙の比較第1党「愛国同盟」，同第3党MOSTおよび「ミラン・バンディッチ 365」による連立政府が発足。オレシュコビッチ首相（無所属）が就任。

2016年6月15日 クロアチア議会がオレシュコビッチ首相に対する不信任決議を可決。

2016年6月20日 クロアチア議会は7月15日に解散する旨の動議を採択。

2016年7月 グラバル＝キタロビッチ大統領は9月11日に前倒し選挙を実施する旨決定。

（了）